

1 . 調 査 報 告 概 要 表

〔認知症対応型共同生活介護〕

作成日　平成２０年１１月１３日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 4 0 0 2 8 5 7
法人名	株式会社　ビケンテクノ
事業所名	メルシー緑が丘グループホーム
所在地	豊中市小路１丁目８番２２号 （電　話）０６－４８６５－５５１１
評価機関名	社会福祉法人　大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺１－１－５４　大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成　２０年　１０月　２９日

【情報提供票より】（平成　２０年　８月　１日事業所記入）

（１）　組織概要

開設年月日	平成　１７年　５月　１日		
ユニット数	２ユニット	利用定員数計	１８　人
職員数	１８人	常勤　１４人, 非常勤　４人, 常勤換算　１４人	

（２）　建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート　造り		
	４階建ての	３階～	４階部分

（３）　利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

家賃（平均月額）	８０,０００円	その他の経費（月額）	４２,０００円
敷　　金	有（　　　円）	無	
保証金の有無 （入居一時金含む）	有（７２０,０００円） 無	有りの場合 償却の有無	有　／　無
食材料費	朝食	３００円	昼食　５００円
	夕食	６００円	おやつ　０円
	または１日当たり　　　　　円／月額　４２,０００円		

（４）　利用者の概要（平成　２０年　８月　１日現在）

利用者人数	１６名	男性　５名	女性　１１名
要介護１	７名	要介護２	７名
要介護３	２名	要介護４	０名
要介護５	０名	要支援２	０名
年齢	平均　８５歳	最低　７１歳	最高　９９歳

（５）　協力医療機関

協力医療機関名	吉田医院、井田診療所（精神科・心療内科）、岡齒科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ビル・メンテナンス会社を経営する事業主が地域貢献を目的に設立したグループホームです。併設の有料介護付き老人ホームを含む全国４か所の老人ホーム、２か所のグループホーム、ケアプランセンターなどを運営しています。当ホームはゆったりとした設備と余裕のある人員配置を行っており、研修を充実するなど職員の育成に力を入れ、利用者を尊重する心豊かな支援を実践しています。利用者は家事など自らの役割を持ち、また歩行機能を保つために毎日の外出と運動を楽しみながら、地域の人々と交流できるグラウンドゴルフやふれあいサロンにも参加しています。さらに保育園児の来訪やお話ボランティアの支援を楽しみにしています。当ホームでは買い物や外食、美容院、墓参りなど、希望の場所に出かける個別支援を行っています。提携医師、併設施設の看護師を中心とする２４時間医療連携支援を行い、利用者や家族の希望に添った終末支援も行っています。近くデイサービスセンターの併設を予定しており、さらに地域交流等の充実が期待されます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連科目：外部４）
	前回評価での改善課題は１項目のみで「運営推進会議を開設する」というものでした。ホームでは昨年７月第１回の運営推進会議を開催し、現在は２か月に１回の定期開催に向けて準備中です。
	今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部４）
重点項目②	管理者は職員が外部評価の意義を理解するように会議等で説明し、職員は外部評価の意義を理解した上でサービス向上に努めています。また、今回の自己評価票の作成については職員全員が参加するなど、記録内容からも取り組み状況が伺えます。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部４, 5, 6）
重点項目③	主な討議内容は１）ホームからの開催趣旨説明、行事予定・報告等　２）意見交換です。内容は①地域交流について②夜間救急体制について③ホームの日課（外出等）について④アセスメントシートの活用について⑤重要事項説明書や運営規定を変更する際の取扱について等です。　３）今後の課題として①地域連携をさらに深める②運営推進会議の定例化について等が確認され、現在取り組み中です。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部７, 8）
重点項目④	利用者の健康状態の変化についてはその都度家族に連絡をしています。家族が来られたら利用者の様子を伝え意見を聞いています。毎月１回「緑通信」を発行し家族へ送付しています。職員の異動や新入職員の紹介については口頭で報告をしていますが、今後は「緑通信」にも掲載する予定です。小口現金の預かりについては出納帳・レシートを毎月家族へ送付し、了解を得ています。家族交流会を年３回、家族会を年１回開催し家族間の交流を促進すると同時に、ホームへの意見や要望を傾聴しています。運営推進会議には利用者代表・家族代表の参加を得ています
	日常生活における地域との連携（関連項目：外部３）
重点項目④	地域の文化祭、敬老会、保育園の運動会などに出かけ交流しています。また、地域のふれあいサロンやグラウンドゴルフにも定期的に参加し交流を深めています。毎日、公園に出て体操をする、買物や散歩、外食に出かける、地域の公園周辺の清掃活動への協力をするなど地域の人々とふれあう機会を多くしています。ボランティアの来訪や中学生の体験学習を積極的に受け入れています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	ホーム理念には「・・・地域の中で自分らしく 生き、過ごせる我が家」と掲げ、地域での暮 らしを支援する方針を明確にしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム玄関に掲示して共有していま す。管理者と職員は毎日理念を唱和し理解を 深めると同時に、方針として具体化し実践し ています。具体的には「日常的に外出の機会 を設け地域の人々とふれあう機会を作る・地 域行事に積極的に参加する」ことなどです。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	地域の文化祭、敬老会、保育園の運動会など に出かけ交流しています。また、地域のふれ あいサロンやグランドゴルフにも定期的に参加 し交流を深めています。毎日、公園に出て 体操をする、買物や散歩、外食に出かける、 地域公園周辺の清掃活動への協力をするなど 地域の人々とふれあう機会を多くしていま す。ボランティアの来訪や中学生の体験学習 を積極的に受け入れています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員が外部評価の意義を理解するように会議等で説明し、職員は外部評価の意義を理解した上でサービス向上に努めています。また、自己評価票の作成については職員全員が参加するなど、記録内容からも取り組み状況が伺えます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を定め、2カ月に1回、年6回の開催を目指しています。会議記録は整理し参加者、職員間で共有しています。会議には利用者代表、家族代表が出席し積極的な意見を述べています。会議で出された意見については業務に反映しサービス向上を図っています。しかし、現在のところ定期的な開催を実現できていません。	○	運営推進会議は2カ月に1回、年6回の定期的な開催が求められます。
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当課に出向き相談をする、アドバイスを受ける、情報交換をするなどの機会があります。地域包括支援センター職員とは運営推進会議の場だけではなく研修や地域のグループホーム交流会等の場を通じて連携を深めています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の健康状態の変化についてはその都度連絡をしています。毎月 1 回「緑通信」を発行し利用者の日常の様子を家族へ送付しています。職員の異動や新入職員の紹介については電話等で報告をしていますが、今後は「緑通信」にも掲載し徹底する予定です。小口現金の預かり分については出納帳・レシートを毎月家族へ送付して了解を得ています。また、発信簿にも送付記録があります。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたら利用者の様子を伝え、意見を聞くようにしています。また、家族交流会を年 3 回、家族会を年 1 回開催し家族間の交流を促進すると同時に、ホームに対する意見や要望を傾聴するよう努めています。運営推進会議には利用者代表、家族代表の参加を得ています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限にしながらも職員が各分野で経験を深め、より充実した支援を行う目的で配置転換を行っています。職員の退職は少なく、職員はやりがいを持って働きながら安定したサービスの供給を行っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームでは毎月 1 回外来講師を招いて職員のほとんどが参加する独自研修を行っています。また、外部研修を積極的に受講しており、職員の育成に力を入れています。研修内容も幅広く認知症の接遇、感染症予防、救急救命法の実践などが含まれています。受講者は研修を業務の一環として勤務時間内に受講することができます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者はサービスの質の向上を図ることを目的とする同業者との交流や連携の必要性を認識しています。市の介護保険事業者連絡会や地域ネットワーク会議への参加、個別でのグループホーム間の交流など積極的に取り組んでいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人が納得してサービスを利用できるように、施設見学はもちろん 1 週間程度の施設体験入居を勧めています。利用者は馴染み安い雰囲気の中で、そのまま入居される場合もあります。また、自宅へ事前訪問をして生活歴等を確認するなど、支援内容の充実に努めています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者に家事や調理について教えてもらうなど学ぶことが多くあります。また、戦争時の体験談など職員の知らない過去の出来事を聞かせてもらい共感することもあります。困ったことや悩み事を利用者に聞いてもらい慰められたり、誕生日や長寿を祝い喜び合ったりする関係を大切にしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活のあらゆる部分で利用者の希望や意向を尊重するよう取り組んでいます。職員は一人ひとりへの対応を丁寧に、声かけを十分に行いながら支援をしています。利用者が使う特徴のある言葉を理解して、他の利用者との会話に困らないような支援を心がけています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の参加を得たケアカンファレンスを行い、介護計画書を作成しています。家族の参加が得られない場合には事前に意見を聞き、介護計画書に反映しています。また、全職員が介護計画書に目を通し共有しながら、毎日の支援内容を記録しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に介護計画書の見直しを行っています。見直し時期以外にも必要があれば見直しを行い、利用者の変化に応じた介護計画書を作成しています。アセスメント表、モニタリング記録、カンファレンス記録を残しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	提携医師及び併設する同事業所有料老人ホームの看護師の協力を得て24時間医療連携支援を行っています。必要な場合にはかかりつけ医や専門医への受診支援を行っています。今後は近く開設予定のデイサービス利用者との交流を行う予定です。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がそれぞれに、専門医やかかりつけ医療機関で医療が受けられるように、希望を尊重した支援をしています。受診方法や結果の報告、共有などについても利用者・家族の希望に添った支援をしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者家族の希望を尊重した終末期支援を行う方針で臨んでいます。入居時から支援方針を説明していますが、状態が急変した場合にはその都度、利用者家族、かかりつけ医師と調整して方針を確認し、共有しています。これまでに3ケースの支援経験があります。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを大切にした接遇をしています。個人情報の取り扱いについては文書を定め、職員採用時には守秘義務について書面で確認し、職員のサイン・押印を得ています。利用者に関する書類については鍵のかかる場所に保管しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの大まかな日課はありますが、利用者の体調や気分に合わせて支援をしています。利用者一人ひとりが自分のペースで、好きな場所で好きなことができるように配慮しています。例えば他のユニットに遊びに行かれる、個別の支援を受けて美容院や買い物に行かれる、お墓参りに行かれることもある等です。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が食事作りに参加しやすいように、それぞれの希望や特技を活かした役割表を作成し、利用者は納得して食事作りを楽しまれています。買い物、下ごしらえ、調理、配膳、後片付けなど、生き活きとした姿が見られます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回、2日に1回の割合で入浴支援をしています。その他の日も希望があればいつでも入浴ができ、毎日入浴している利用者もおられます。入浴日や時間等は希望を尊重しておおよその時間帯を決めていますが、その日の希望によって変更することもあります。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作りや洗濯、掃除など利用者はそれぞれが役割を持っています。買い物、散歩、外食、墓参り、グランドゴルフやふれあいサロンなどの地域行事にも参加しています。小さな菜園での収穫や公園周辺の草取り、趣味活動やお話ボランティア（英会話を含む）の時間を楽しみにするなど利用者は希望に添った支援を受けています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日戸外へ出て、公園での体操や近隣住民と会話するなど、利用者全員が外出できる時間を楽しんでいます。雨の日は公園ではなく隣接する有料老人ホームのロビーを活用してお茶を飲むなど、天候に応じて行き先を変えながらも、利用者を楽しんでもらえるような外出支援を行っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、各ユニット玄関は自動ドアを手動にして鍵をかけていませんが、1階の総合玄関は「安全性を重視する」という事業所方針により終日鍵をかけています。鍵をかけているための閉塞感を持たれないように、外出の機会を増やす、外出の希望があればその都度外に出て付き添うなどの対応をしています。	○	日中は外への出入り口に鍵をかけない取り組みが求められます。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策の手順書を作成し、消防署の指導を得て年2回の防災、避難訓練を行っています。避難訓練は夜間を想定する、外階段を活用するなど実用的で安全性を重視した訓練をしています。また、隣接する有料老人ホーム警備室に非常ベルがセットされ支援体制が組まれています。災害発生時に使用できるように非常食と水をホームに保管しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は三食ともに把握し、水分摂取量も詳細に記録し脱水症などの予防を徹底しています。食事委員会を月2回開催し、利用者の希望を反映する、カロリーや栄養素のバランスを考えたメニューを作成するなど、活発な取り組みをしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部分は明るくゆったりとして家庭的です。居間にはソファを置き、絨毯を敷いてくつろげるスペースを設けるなどの工夫をしています。玄関や廊下にはイスを置き利用者が休みながら行動できるように配慮しています。トイレ、洗面台は車イスでも対応できるように、ゆとりのある空間を設定しています。景観が良く、特に夜景が美しいと利用者から好評を得ています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は居室に机やイス、仏壇、タンス、ドレスかけ、テレビ、時計、冷蔵庫など馴染みの家具を置き、手作り作品や写真を飾るなどそれぞれに個性的で清潔感のある居室にしています。乾湿・温度計を各部屋や廊下に設定して、空調管理を細やかに行うなど、適度で過ごしやすい居室にしています。		